

文京国際交流フェスタを終えて ボランティア活動の魅力

みなさんこんにちは。

私はイベントボランティアとして2月9日に開催された文京国際交流フェスタに参加した、組谷建瑠と申します。現在大学生です。私は、中学生の職業体験のサポーターやイベントボランティアなど、微力ながらもいくつかボランティア活動に参加したことがあります。その中に「グローバルフェスタ」というイベントがあります。そこのあるブースでは、お揃いのTシャツを着た人たちのが、ものすごい(会場内で1番だったと思います)元気いっぱい活動していた様子が心に残りました。そのブースとは【認定NPO法人 日韓アジア基金・日本】でした。そこで活動してみたいと思い、今回は参加させていただきました。

当日は会場に着くなり、スタッフの大澤さんや本宮さんが、たくさんの事前準備や的確な指示をしてくれたおかげで、スムーズに準備をすることができました。緑のTシャツに腕を通して、募金活動を呼びかけながら、韓国茶を販売するということでした。韓国茶はうめ・しょうが・なつめ・ゆずの4種類があり、どれもおいしかったのですが、一番ゆずが人気でした。昨年より韓国茶は多く売れ、たくさんの募金が集まったそうです。

イベントボランティアとして活動することはたくさんの人と触れ合うことでもあります。今回では、ブースと一緒に活動した社会人、高校生、大学生たちや、フェスタに来たお客さんたち、休憩時間に回ったほかのブースのスタッフのみなさんなどです。いろいろな職業の人たちとお話することができ、特に大学生の私にとって、短い時間ながらも社会人と交流することができたことが、一番の収穫であったと思います。そうしたことは、異なった価値観を理解し、一時的な流れにとらわれず、いろんな価値観からものごとを見る、判断することができるようになっていくと思います。このように、ボランティア活動に参加することで、学生にとってみればかけがえのない経験を得ることができ、たくさんの仲間ができ、自分の成長につながります。不安や戸惑いなどで、なかなか最初の一步を踏み出すことが難し



ブースの飾りつけも終わり、いよいよスタート!

い人たちもいるでしょう。しかし、その1歩進んだ先には、優しいスタッフ、たくさんの仲間、かけがえのない時間がまっています。踏み出す「勇気」があなたの「成長」につながります。ぜひ、1歩踏み出してこういった世界に入ってみてはいかがでしょうか？

最後に、今回イベントボランティアとして一緒に活動をしたみなさんお疲れさまでした。私にとって文教国際交流フェスタでの言動一つ一つが貴重な体験となりました。みなさんにとっても、有意義な時間になってもらえれば

幸いです。また、お会いできるのを楽しみにしています。ありがとうございました。